事業所名 グループホームほほえみの郷

作成日: 平成 23年 4月 10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む 具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】											
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間						
1	34· 35	①緊急時の研修が行えていない ②火災を想定した避難訓練は実施しているが、 地震や水害等の災害に対しての訓練が出来て いない	緊急時及び災害についての研修及び訓練 を施設職員全員が参加出来るよう複数回行 う	・消防訓練とは別に災害等の非常マニュアルを 策定し訓練を実施する ・緊急時のマニュアルを策定し周知徹底を図る ・緊急時について研修の実施及び日程の設定	12ヶ月						
2	1	施設理念の内容が地域密着性を感じにくい	施設内だけではなく、地域との関わりをも含めた理念を掲げる	・全職員を対象とした理念に関するアンケートの実施 ・アンケートを集約し、理念を再構築する	8ヶ月						
3	48• 49	生活が単調なものとなっている	いきいきした生活を送ってもらう	・業務の中にも会話を忘れない ・家族にも積極的に関わって頂けるようにする ・本人の出来ること出来ない事をしっかりと把握 し、その人らしさを大切に介護を行う	6ヶ月						
4	40	食事のメニューが重なる事がある	メニューが重なる事のないよう配慮する	メニュー作成時、調整する	2ヶ月						
5	13	職員を育てるための取り組みが確立されていない	職員を育てる取り組みをプログラム化する	職員を育てる為に必要な ①事項の整理 ②内容を詰める ③内容をプログラム化	12ヶ月						

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

(別紙4(2))

事業所名 グループホームほほえみの郷

目標達成計画

作成日: 平成 23年 4月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む 具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】									
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間				
6	40	入居者と職員が昼食を一緒に摂れていない	共に食事が摂れるようにする	職員の業務を整理し、日課予定を再構築し職 員の休憩時間をずらす	4ヶ月				
7					ヶ月				
8					ヶ月				
9					ヶ月				
10			マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ヶ月				

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。